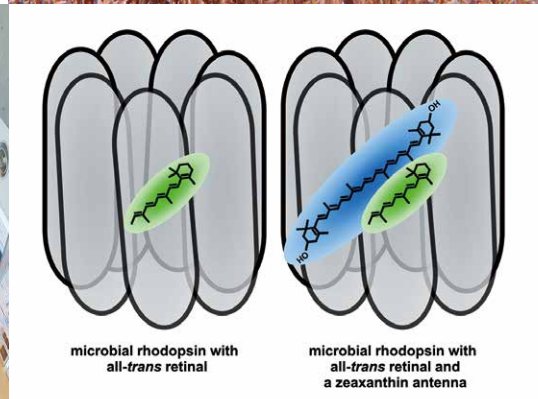
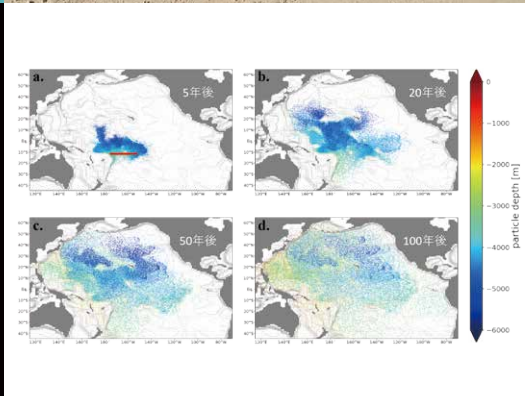
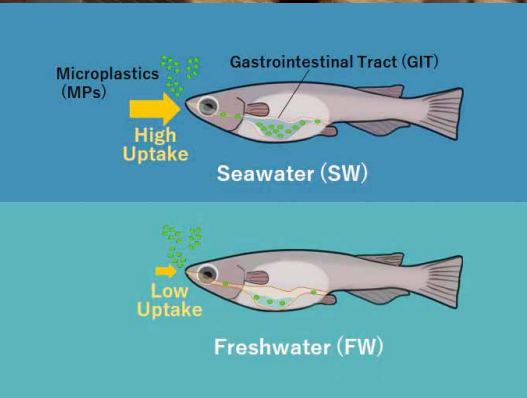
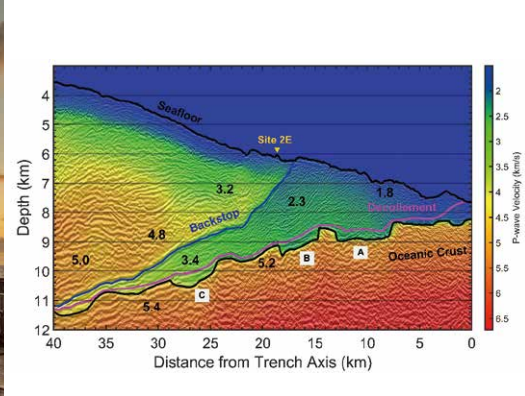




東京大学大気海洋研究所

Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo



2023

要覧 |
CATALOG



C O N T E N T S

2023

ATMOSPHERE AND
OCEAN RESEARCH INSTITUTE
THE UNIVERSITY OF TOKYO

要覧 | CATALOG

沿革 History	P2
機構 Organization	P4
委員会 Committees	P6
教職員 Staff	P8
教育システム Educational System	P14
部門とセンターの研究内容 Research Contents	P18

C O V E R I M A G E S

①	②	③
④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨
⑩	⑪	⑫

- ①: 「AORI写真コンテスト2022」 「海・空」 部門優秀賞「上る太陽下船を控えて」 矢萩拓也
- ②: プレスリリース「日本海溝の浅部プレート境界断層に沿った間隙水圧の異常 ——2011年東北沖地震の巨大津波を引き起こしたか——」 より「P波速度構造モデル」
- ③: 「AORI写真コンテスト2022」 「大気海洋研究所」 部門優秀賞「雪のキャンパス」 齊藤宏明
- ④: プレスリリース「魚は淡水中より海水中でより多くのマイクロプラスチックを飲む」 より「飲水量が取り込み量を決める」
- ⑤: 「AORI写真コンテスト2022」 「海・空」 部門優秀賞「石亀」 呂 律
- ⑥: 「AORI写真コンテスト2022」 所長賞 / 「大気海洋研究所」 部門最優秀賞「羅針盤が標す光路」 石山玄樹
- ⑦: プレスリリース「ヤドカリの“宿”を作る新種のイソギンチャク!? ——深海の驚くべき共生関係」 より「ヒメギンカライソギンチャク」
- ⑧: プレスリリース「粒子追跡手法から明らかになった北太平洋深層水の行方」 より「深層水を模した粒子をサモア水路付近（左上図の赤線）の3500m以深から放出して、5、20、50、100年経過した後の粒子の位置」
- ⑨: 「AORI写真コンテスト2022」 「その他」 部門優秀賞「悠々自適海中ライフ」 須田大朔
- ⑩: プレスリリース「サンゴの白化感受性には細菌も関係する? ——共生藻の細胞表面から光保護機能を持つ色素細菌を発見——」 より「白化したサンゴ」
- ⑪: 2019年以後の会場企画も実施した大気海洋研究所一般公開2022
- ⑫: プレスリリース「地球全体に分布するロドプシン保有細菌の新たな光エネルギー獲得戦略 ——キサントフィルを用いた集光アンテナの発見——」 より「ロドプシンと集光アンテナを持つロドプシン」